

第2回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年5月14日(月)午後3時～同4時20分
- 場 所 日本歯科医師会 10階会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正、井出吉信
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、
佐藤田鶴子、平井敏博、土屋友幸、江里口 彰、
恵比須繁之、栗原英見、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会
- <準備委員長> 伊藤公一
- 欠席者 <常任理事> 宮崎 隆

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

- 一般会務報告(平成19年4月16日～5月13日)
- 第1回常任理事会会議録(平成19年4月16日開催)
- 第1回理事会会議録(平成19年4月16日開催)

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、総会準備の進捗状況が報告された。

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

□学会会計（平成19年4月1日～平成19年4月30日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計

（平成19年4月1日～平成19年4月30日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

①「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が説明された。

②「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

③歯科診療報酬の評価・再評価の提案書への対応（整理・分類）

黒崎副会長から、標記について、4月20日の締め切りをもって各専門分科会から提出された標記提案書（資料6）の整理・分類作業を5月15日に住友総務理事と荒木常任理事の下で行い、その後ヒアリングを開催する予定である旨の報告がなされた。

④歯科診療ガイドラインの作成

▶実践マニュアル／エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策（診療ガイドライン）の認定

佐藤常任理事から、今後発刊予定である標記診療ガイドラインの実践マニュアル版について、出版元である永末書店と5月10日付を以って出版契約書を締結した旨報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶厚生労働省医政局経済課との打合せ会報告

（歯科医療機器産業ビジョン（案）の提出にあたって）

江藤会長から、標記打合せ会内容について、報告書を基に報告がな

された。なお、厚労省の中谷課長補佐からの指摘事項については、修正の上、再提出のため厚労省へ出向くこととしている。

(3) 学会機構改革の推進

▶認定分科会登録申請について

住友総務理事から、標記登録申請は最終的に18件あり、現在資格審査委員会において厳正なる審査が行われている旨の報告が資料を基になされた。

(4) 国際交流の推進

①タイロイヤルデンタルカレッジとの学術交流協定の締結について

江藤会長から、タイとの学術交流協定が5月4日付を以って締結した旨報告がなされた。

②FDIにおける日歯支援体制の構築

江藤会長から、標記支援体制として、現在、神原教授（大歯大）の下でFDIに対する政策声明のドラフトを作成中であり、今後日歯の国際渉外委員会へ提案する運びである旨の報告がなされた。

5) 歯科診療の補助行為に関する本学会の見解について

江里口常任理事から、日歯から意見だしの依頼のあった標記補助行為について、再度本学会「歯科衛生士業務に関わる検討会」に本件の問題を差し戻し、検討していただきたい旨の報告がなされた。

6) 第5回「デンタルヘルス・シリーズ」シンポジウムへの後援名義使用について

住友総務理事から、標記後援名義貸与について資料を基に報告がなされ、既に使用許可の回答が済んでいることを確認した。

○依頼元：日本歯科医師会会長 大久保満男

7) 第5回日本再生歯科医学会学術大会・総会への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記後援名義貸与について資料を基に報告がなされ、

既に使用許可の回答が済んでいることを確認した。

○依頼元：日本再生歯科医学会会長 吉山昌宏

8) 顎口腔機能診断料の施設基準に係る取り扱いについて

黒崎副会長から、厚労省保険局医療課から発出された標記について資料を基に報告がなされた。

9) 会長報告（日本歯科医師会第1回理事会報告等）

江藤会長から、日歯第1回理事会および専門分科会理事との懇談会報告がなされた。

10) 職員人事について

住友総務理事から、5月1日付発令の日本歯科医師会職員（日本歯科医学会事務局）の人事異動が、資料に基づき報告された。

□係 員 黒森裕佳子（事業部生涯研修課係員）

事業部日本歯科医学会事務局へ異動

11) その他

江藤会長から、後期高齢者医療のあり方について報告がなされた。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

江藤会長から、今後診療ガイドラインの作成に向け、作業を進めていくことが確認され、これを承認した。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶歯科医療技術革新推進協議会への諮問について

江藤会長から、標記協議会への諮問（案）について諮られ、原案どおり決定した。

また、協議会委員の選考については、日歯、本学会および日本歯科商工協会からなる三者構成とし、委員（9名）を承認した。

なお、会議開催に伴う費用負担は、各団体がそれぞれ負担することを確認した。

(3) 学会機構改革の推進

住友総務理事から、標記について、今後の展望が示され、全会でこれを承認した。

(4) 専門医制度の確立

①専門医制協議会の設置について

住友総務理事から、標記協議会への諮問（案）について諮られ、原案どおり決定した。

また、協議会委員の選考については、原案どおり（委員定数：5名）を承認した。

②専門医制審議会の設置について

住友総務理事から、標記審議会への諮問（案）について諮られ、原案どおり決定した。

また、審議会委員の選考については、原案どおり（委員定数：6名）を承認した。なお、このほか有識者を国民から1名乃至2名を加えることで調整を図ることとした。

(5) 国際交流の推進

▶日中歯科医学大会2008（仮称）の開催について

江藤会長から、標記大会の準備・運営を任務とした日中歯科医学大会2008準備委員会への諮問（案）について諮られ、原案どおり決定した。

また、委員会委員の選考については、原案どおり（委員定数：4名）を承認した。

4) 事業計画の推進

(1) 医道審議会臨時委員の任命について

住友総務理事から、標記審議会臨時委員の任命について諮られ、住友総務理事の委員推薦を承認した。

(2) シンポジウム「国民の期待に応える歯科医療を求めて」実行委員会の立ち上げについて

住友総務理事から、標記委員会への諮問（案）について諮られ、原案どおり決定した。

なお、諮問事項は、「1. 歯科医療技術の紹介」を主に企画し、「2. 後期高齢者における在宅医療の推進」については、日本歯科総合研究機構主催のシンポジウムに共催する方向で進めることとした。

また、委員会委員の選考については、原案どおり（委員定数：5名）を承認した。

(3) 学際領域問題検討委員会の設置について

井出副会長から、標記委員会への諮問（案）について諮られ、提案どおり決定。

また、委員会委員の選考については、原案どおり（委員定数：6名）を承認した。

なお、検討事項（テーマ）に応じ、インプラント問題と摂食嚥下問題で関係委員を入れ替えることを承認した。

(4) 歯科医療安全における心肺蘇生法の取り扱いについて

住友総務理事から、標記への対応について提案書を基に諮られ、「歯科医療関係者心肺蘇生教育研修検討会（仮称）」の設置を決定した。

なお、臨時委員会委員の選考については、会長一任とした。

(5) ICD - 11 への改訂に向けた対応について

住友総務理事から、日本口腔科学会（理事長 天笠光雄）より依頼のあった標記について諮られ、協議の結果、厚労省歯科保健課を經由し、厚労省大臣官房統計情報部から本学会へ本件に関わる依頼文書を発出してもらうよう対処することを承認した。

(6) 「県民フォーラム“G i f u 2 0 0 7”（仮）」への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の使用を承認した。

○依頼元：岐阜県歯科医師会会長 高木幹正

- (7) 2007北京・日中デンタルフォーラムへの後援名義貸与について
住友総務理事から、標記について諮られ、後援名義の使用を承認した。

○依頼元：アジアデンタルフォーラム運営委員長 田上順次

- (8) 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、別紙のとおり決定した。

▶別紙参照

5) その他

江藤会長から、先般開催された日本歯科放射線学会（5月10日）および日本歯科理工学会（5月11日）の理事者と本学会役員との理事懇談会の結果報告がなされた。その中で、改定薬事法のもと改善点や問題点について各専門分科会へ意見だしを求めているとの提案があり、これを全会承認した。

5. 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。

【別添資料】

○日本歯科理工学会に対する諮問事項

「歯科医療器材の開発・改良における諸問題（承認・認可）への対応」